

秋田内陸線

阿仁のふしっふりまつり



秋田内陸線阿仁合駅開設80周年を記念した「阿仁のこっつおまつり（佐々木琢郎実行委員長）」が、10月30日に阿仁合駅前駐車場で開かれ、内陸線沿線の名物や特産品などの出店が並び、大勢の来場者でにぎわいました。



グッチ裕三さんによるバター餅の餅まき



大勢の来場者でにぎわう飲食物販コーナー

阿仁合駅の成り立ち

阿仁合駅は、旧国鉄阿仁合線の阿仁前田～阿仁合間の開通に伴い、昭和11年に現在地に開設されました。秋田内陸線に転換後、平成元年の鷹巣～角館間全線開通を機に、現在の駅舎に建て替えられ「北緯40度線に位置する阿仁地域のシンボルの巨大な三角屋根のある駅舎」として、東北の駅百選に選ばれています。

阿仁合駅開設80周年記念式典

阿仁合駅前の駐車場で行われた、阿仁合駅開設80周年記念式典（秋田内陸縦貫鉄道を応援する会主催）では、伊藤四郎会長が「地域発展の中心にあった阿仁合駅の節目を祝うとともに、さらに活用を進めて内陸

線の価値を高め、地域を活性化していきたい」などあいさつを述べました。

続いて、来賓の虻川広見副市長、秋田内陸線の佐々木琢郎社長が祝辞を述べたほか、阿仁中学校2年の珠井宗瑠さんが「阿仁中生も阿仁合駅にはとてもお世話になっており、その感謝の気持ちを伝えたいと考え、生徒一人一人の思いを綴ってきた」と述べ、内陸線への応援メッセージを佐々木社長に手渡しました。

式典の最後には、関係者が駅舎入口に設置されたくす玉を割って、駅開設80周年の節目を祝いました。

内陸線沿線の秋の味覚満載

まつり会場では、きのこ汁が無料で振る舞われたほか、アユの塩焼きや馬肉の煮込み、森吉牛ステーキなどが販売され、来場者は阿仁の秋の味覚を味わっていました。

また、タレントのグッチ裕三さんがゲスト出演し、バター餅の餅まきや来場者と触れ合いイベントを盛り上げたほか、からめ節や阿仁合小の児童によるよさこい演舞、阿仁出身のGABEZによるパフォーマンスなどが披露されました。

さらに、阿仁合駅周辺の国重要文化財指定の異人館では、異国情緒も引き出される「シタール・タブラ」



▲異国情緒も味わう異人館カフェ



▲阿仁合小のよさこい演舞とからめ節



▲GABEZのパフォーマンス

コンサートの演奏や「異人館カフェ」でのコーヒーの提供などで、館内もおおい賑わい、商家の湊商店の内蔵と宮越商店が特別公開されるなど、多彩なイベントを練り広げました。



日沿道鷹巣大館道路開通式

北秋田市に 高速道路が開通！

日本海沿岸東北自動車道（略称：日沿道）鷹巣大館道路（略称：日沿道）鷹巣大館道路の開通式が、10月22日に鷹巣ICで行われ、関係者約150人が参加して開通を祝いました。

鷹巣大館道路は、日沿道の一部区間として、平成18年度から（仮）あきた北空港ICを起点に大館市の二井田真中ICまでの13・9kmの整備が進められており、このたび開通したのは、このうちの鷹巣ICから二井田真中ICまでの12・2km。

この日の会場では、国や県、北秋田市、大館市の観光パネル展示ブースのほか、両市の特産品ブース及び企業紹介ブースが設けられ、また、開通式の開会に先立ち、綴子上町保存会と鷹巣南中学校吹奏楽部の生徒が演奏を披露して来場者を迎え入れました。



県北部の発展のため全力尽くす 津谷市長があいさつ

式典で、佐竹敬久秋田県知事は「この地域は、世界遺産の白神山と十和田八幡平国立公園の中間に位置し、

世界遺産登録を目指す縄文遺跡群の一つ伊勢堂岱遺跡があり、地域連携DMOのインバウンド対策が進められるなど、日沿道の整備により、海外からの誘客にも大きな効果が期待される。県でも、より効果を発揮させるため高速道路ネットワークの完成実現に向け、これまで以上に尽力していく」などあいさつ。

また、津谷市長は「地域の悲願であった鷹巣大館道路が開通の日を迎えた。当市は、空路と道路、鉄路の高速交通体系が確立され、首都圏と県北地域の物流拠点として、大きな役割を担うことになる。開通がもたらすストック効果を本市、県北部の発展につなげるため、市民一丸となり全力で取り組んでいく」などと、開通を喜ぶとともに地域経済の発展に向け決意を述べた。

このあと、来賓の金田勝年法務大臣が祝辞を述べたほか、鷹巣大館道路の起工式の年に誕生した、鷹巣中央小学校4年の倉内日向さんがメッセージを発表。最後に国や県、近隣市町村の首長や議長などによるテープカットとくす玉開披を行い、開通を祝いました。

なお、鷹巣ICから（仮）あきた北空港IC区間は、平成29年度中に完成する予定になっています。